令和８年度さくらんぼ結実確保緊急支援事業

近年、さくらんぼの受粉に広く利用されている訪花昆虫（マメコバチ）の減少が著しい。これに加えて、花粉の供給源となる受粉樹が不足しているため、結実が不安定になっている。十分な結実量を得られなかった令和６年及び７年の収穫量は、平年を大幅に下回っており、早急な対応が必要とされている。

そこで、緊急的な結実確保に向けて、マメコバチの不足を補うミツバチの導入と、受粉樹の不足を補う輸入花粉の購入を支援する。

1 支援の内容

- １群当たり 4,000 匹以上の買取りミツバチ、リースミツバチの導入
- 輸入花粉の購入

2 事業実施団体

- 農業者団体（３戸以上の農業者で組織する団体）
- 農業法人

3 事業の対象品目

- さくらんぼ

4 補助の要件

- 市町村が嵩上げして補助金を交付すること
- 成果目標を設定しており、当該目標の実現が見込まれること

5 成果目標

- 事業実施により「販売額の増加」の実現が見込まれること

6 補助金の額

- 補助率　6/12 以上
  （県 1/3、市町村 1/6 以上※、（任意：生産者団体・市場））
  ※ すでに 1/6 以上の補助を実施していて、これを維持する場合など
- 補助対象経費　買取りミツバチ、リースミツバチ、輸入花粉の導入に要する経費のうち、本体価格
- 補助対象経費上限
  - ミツバチ１群あたりの価格　36,000 円（税込み）（第１期）
    45,000 円（税込み）（第２期）
  - 輸入花粉 10g あたりの価格　24,000 円（税込み）

7 その他

●本事業の要望調査は、以下の２回を実施予定

第１期：令和８年１～２月

令和８年４月に実施する事業を想定した要望調査（雨よけ・露地栽培へのミツバチ導入、全作型への輸入花粉導入を想定）

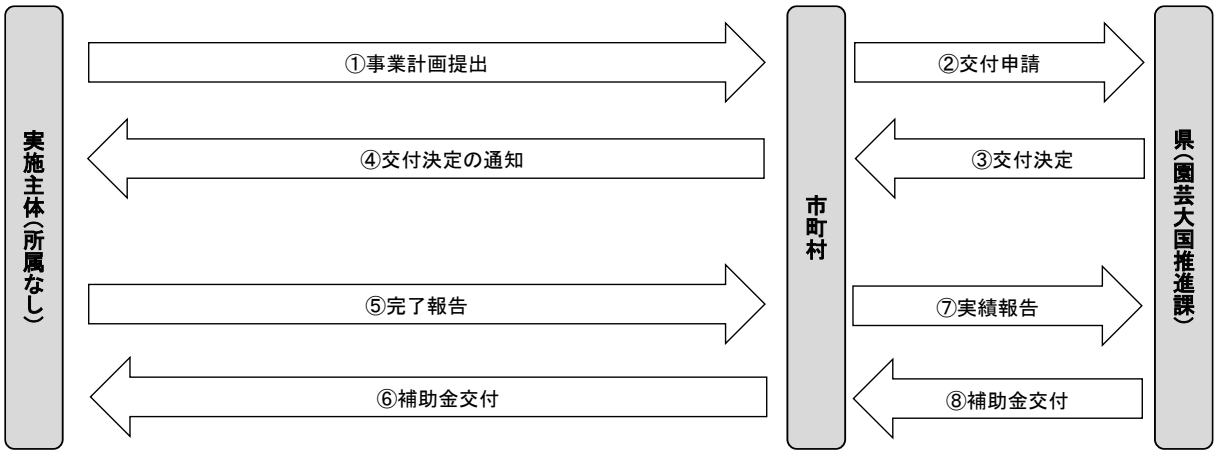
第２期：令和８年 11 月～12 月頃

令和９年１～３月に実施する事業に対する要望調査（加温・無加温栽培へのミツバチ導入、全作型への輸入花粉導入を想定）

※各作型の開花時期に合わせて要望調査を実施しますが、対象を限定するものではありません。

●手続きの流れは下図のとおりとする

①実施主体が生産者団体等の生産組合に所属していない場合



②実施主体が所属する生産者団体等が任意で支援を行う場合

